



第63回 全国保育研究大会

～すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして～

令和元年11月13日(水)～15日(金)の3日間、広島市で、第63回全国保育研究大会が、開催されました。

全国から約1600名の保育関係者が集まり、盛大な大会となりました。

初日は、開会式典のあと、行政説明や、基調報告があり、今、保育をめぐる動向や、全国保育協議会の取り組みが報告されました。

2日目は、11の分科会に分かれて、研究発表やグループ討議が行われました。

第6分科会では、島根県から、かのあし保育協議会(調理担当者部会)が研究発表されました。『いだく・つつむ・つなぐ』～子どもが幸せな大人になるために～と題して発表され、家庭(いだく)・地域(つつむ)・保育者(つなぐ)の関わり方について、改めて考えさせられる機会となりました。その他、栃木県と大分県の2園での取り組みも発表され、それぞれ、その地域性を生かした活動をされていました。

3日目は、記念講演があり、3日間の大会が閉会しました。

全国の保育関係者が、一同に会する機会は年に1度しかなく、いろいろな情報交換の出来た貴重な経験でした。



